



大用小学校学校だより NO.19

# とみやま



令和5年12月11日 文責 校長 弘瀬

## 中村中学校の体験入学に行ってきました！



▲理科の授業



▲部活体験 (ソフトテニス)



(サッカー)



(卓球)



(ソフトテニス)

12月8日(金)、6年生6名が中村中学校の体験入学に行ってきました。令和6年3月末で大用中学校が閉校となるため、中村中学校での体験入学となりました。この日は、来年入学予定の約180名が参加をしました。各教科の体験授業や部活体験など、短い時間でしたが中学校生活にふれることができました。児童の中には、スポーツ活動を通じて知り合いもいるようで、他校の子どもと楽しそうに会話をする姿も見られました。

子どもたちは、数学・社会・理科の教科に2名ずつが希望し授業を受けました。数学ではトランプのカードを使って正負の計算の仕方を学び、社会では人物や出来事、場所などの写真から歴史を振り返りました。理科は空気には重さがあり、それを確かめるための実験をしました。

4月からはいよいよ中学生。残り少なくなった小学校生活を充実したものにしてほしいです。

## すごいぞ お米！

### 「富山米のおいしさのヒミツを知ろう」



▲水分計を使って玄米の等級を調べる方法を教えていただきました

## 人権標語をつくりました！

12月10日は国連が定めた「人権デー」です。日本では、12月4日～10日までを人権週間として様々な取り組みをしています。

四万十市では人権フェスティバルがあり、全校児童が人権標語をつくって応募しました。また、幡多地区人権擁護委員さんから募集があった人権標語には、5年生5名が応募をしました。作品を紹介します。

- 分かり合う それこそ本当の 友達だ(敷地)
- けんかとは 仲間のあかし なかなおり(平野)
- 友達が そばにいるよ 幸せだ(益岡)
- 悪口は 人の心を きずつける(敷地)
- ありがとう 心にしみる その言葉(小野)

12月6日(水)、3・4年生の総合学習の講師として山崎由美さんに来ていただきました。富山では、ヒノヒカリという品種が多く作られています。この品種の特徴は、草丈が低いので倒れにくく作りやすい。また、次の年でもおいしく食べられるとのこと。富山の地形は、標高が高く気温や水温が低いいため、早生(わせ)品種ではなく、中生(なかて)のお米を作っています。ヒノヒカリは、穂が出てからの平均気温を積算して880℃になると収穫できる(35～40日)ことなどを学びました。「大用は水もきれい、空気もきれい、こんなところで育ったお米がおいしくないわけがない」と話をされていました。もっと大用のお米を自慢してもいいよと、子どもたちに伝えていただきました。

家庭でお米作りの手伝いをしている子どもが多いのですが、あらためてお米ってすごいなと感じたのではないのでしょうか。お米をはじめ、私たちが口にする食材はこのようにして大切に育てられていることを学びました。